

林野火災に係る消防防災対策のための検証等事業

実施主体：消防庁
事業費：0.6億円
対象事業：調査研究事業

事業目的

消防庁で開催している「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」の議論を踏まえ、関係省庁と連携して今後の林野火災対応に必要となる調査研究を実施し、効果的な林野火災対策の実施を図ります。

事業概要

①林野火災用消火薬剤の評価方法の検証実験等

米国での林野火災の消火活動では、消火薬剤が活用され、火災に対する効果のほか、健康・環境影響への評価も実施されている。

水による消火が主となっている我が国においても、効果的な消火活動を行うために、環境省、林野庁と連携して実情に即した林野火災用消火薬剤の活用方法、消火薬剤の評価方法等を検討する。

<事業スキーム>



実施イメージ

文献調査

消火薬剤の
・評価方法
・認証制度
・標準的な使用方法
など

消火試験・延焼抑制試験等の実施



(イメージ)

消火薬剤の評価方法のガイドライン等の作成

当該評価方法により有効性が確認された消火薬剤を林野火災の消火活動において活用することで、より効果的な**被害低減や早期鎮火を可能**にする

②市街地火災延焼シミュレーション・林野火災シミュレーションを統合した消防活動支援システムの開発

林野と市街地の境界領域で発生する林野火災に対して、市街地への延焼を阻止した消火活動を実施する必要。

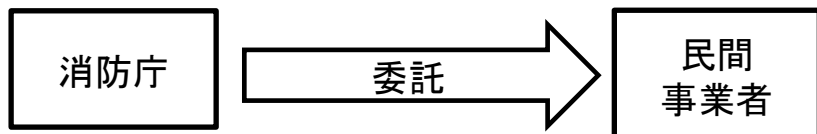
林野火災発生危険度予測の結果を林野火災シミュレーションに反映させ、さらに飛び火範囲を推定。その結果を市街地火災延焼シミュレーションに連携し、林野火災における市街地への延焼拡大を評価するシステムを開発する。

③諸外国における林野火災対応の行政体制及び実施状況等に係る調査

近年、世界各地で発生する大規模林野火災について、我が国での対応に活用するために、その消火方法などを継続的に調査していく必要。

国により異なる林野火災への対応体制・消火方法の調査を実施する。

<事業スキーム>



②消防活動支援システムのイメージ

